強盗犯への対応
大垣信金が訓練

歩行町支店

大垣市歩行町の大垣信用金庫歩行町支店で2日、強盗を想定した防犯訓練＝写真＝が行われ、非常時の警備体制を確認した。

年末に向けて、行員の気持ちを引き締めようと、毎年、大垣署の協力の下、各支店持ち回りで開催。同支店の行員や、他の支店長ら約30人が参加した。

刃物を持った強盗が客の1人を人質に取って、現金を要求した―



という想定で訓練。行員らは非常ボタンを押したり、110番したり、犯人の人相を覚えたりと、互いに連携を取りながら対応を確認した。

その後、犯人の人相のアンケートや、逃げる犯人を模した板に、カラーボールに見立てた水入りのボールを当てる訓練を実施。

同署の尾崎隼人生活安全課長は「時間をうまく稼ぐ工夫をしてほしい。また凶器や侵入方法などさまざまなケースが考えられるので注意して」と呼び掛けた。(富樫一平)

無断複製・転載を禁じます